「3学期始業式を終えて」まとめ

3学期始業式の後、生徒は短い時間で「始業式を終えて」を記入しました。

この取組は、聞いた話を要約したり自分の考えを組み入れた文章を短い時間でまとめるを通じ、思考力・表現力等の向上を目指すものです。

内容は、

「1 今日の校長先生の話の要点は、どのようなことでしたか。箇条書きで書きましょう。」

「2 上記の内容をもとに、自分が感じたり考えたりしたことなどを、文章で書きましょう。」

の2つです。各学年から何名かの内容を紹介します。

1年 M.K.

1・どんな1年にしたいか

- ・はつゆめ、3年生の夢
- ・校長先生の経験からの考え方

2・私は、校長先生の話で、「夢を持たなければならないというわけではない」や、「将来の夢と今は違っていいと思う」という考え方に関心を持ちました。なぜなら、今までの私は少し焦っていて、夢を持たなければ…、夢を実現させなければ…、という考え方にとらわれていたからすごく心に残りました。私は、将来の職業はこれしかない決めつけず、もっといろいろな職業や世界があるのだから、焦らず考えてみようと思いました。

1年 R.K.

1・夢をもっていると準備したり成果を得ることができるが、必ずしも夢をもたないといけないわけではないこと

- ・夢をもっているもっていないに関わらず、大事なのは行動すること。
- ・行動できる1年にしよう

2・私は今回の話を聞いて、夢をもつもたないに関わらず、自分のやるべきことや目標を達成するのに必要なことをするなどの行動に移すことが大切だと考えました。私は今、正確な夢や将来のビジョンがあるわけではないけれど、周囲に目を向けてみればやるべきことが多くありました。校長先生の話にもあったとおり、大事なのは行動することであるため、自分のやるべきことを少しでも体を動かして達成していく3学期にしていきたいと思いました。

1年 H.M.

1・初「〇〇」(夢)について

- ・将来の夢について

2・私は将来の夢があるのですが、今現在の私では届きそうにありません。それでも諦めずに行動をしています。ですが最近、本当に無理なんじゃないかなと思い、どうしたらよいか分からなくて親に相談しました。私は「諦める」か「諦めない」かで来ると思っていたのですが、親は私の想像を上回り、「今の夢を追い続けながら、他の選択肢を増やせばいいんじゃない?」と返ってきました。そこで私は、1つだけに集中して周りが見えていなかったことによりやく気付きました。なので私の夢は「今の夢を追い続けながら、他の私のやりたいことを増やしていく」ということになりました。これからも誠心誠意、頑張り続けたいと思っています。

1年 H.M.

1・将来、自分がどんな姿で過ごしているか

- ・自分の夢

2・今回のお話では、自分が将来、どんな姿でいるかを想像してみるとというようなテーマでした。私に

は「薬剤師」という夢がありますが、その夢がどうなるかは分かりません。でも将来、どんな姿になっても全力でその仕事をしていきたいです。そして、今ある夢に向けて、自分ができることをしていきたいです。全てが自分の納得のいく結果になるとは限りませんが、全ての将来を楽しんで生きていきたいです。

1年 H.K.

- 1・校長面接について（将来や夢について）
 - ・夢がある人もない人も行動することが大事ということ
 - ・目の前にあることを行動に移していく1年にすること
- 2・3年生になると校長面接があり、そこでは将来のことや夢について話すということが分かった。今、私にはなりたい夢があるけれど、もしかしたら変わるかもしれないけれど、今は目の前にあることにどんどん行動して行って、自分の可能性を広げたいと思った。もし、大人になって自分の思っていた未来と違っていても、後悔のない人生にしていきたいと思う。

1年 M.M.

- 1・将来の夢について
 - ・校長先生の夢
 - ・7年後の自分
- 2・校長先生のように、中学のときの夢は必ずかなえられるものではなく、違う道を歩むかもしれないけれど、夢を実現するために行動することはとても大切だと思いました。将来のことはだれにも分からないけれど、10年後、どんな自分でいたいかを考え、今できること、しなければいけないことをしっかりやっていきたいです。

1年 K.K.

- 1・将来の夢、将来について
- 2・将来の話聞き、まだ受験生ではないからと、あまり将来の夢について考えたことがなかったことに気づきました。自分が受験する年になったとき、1年生のときからの積み重ねが大事になってくるし、その中でもつまづいてしまうことが多くあると思うのですが、やはりその時に、自分の中の目標となる将来の夢は考えておいた方がよいのかもしれないな、と自分の考えを改めるよい機会となったなと思いました。

1年 S.T.

- 1・初日の出→初夢→（三年生と校長面接）「将来の夢」
 - ・夢の実現のために、日々の積み重ね→態度、行動で表そう！
 - ・大学4年生のとき、教職の決意
- 2・校長先生の仰った「夢の実現」は、日々の行動や態度、積み重ねで違ってくる」という言葉に、やはりコツコツと日頃から積んだ成果ややる気と、行き当たりばつたりの成果では、最終的に「自分の行き着きたかった夢」へつなげられないのだと、現実をかみしめられました。生徒代表の皆さんが「計画性の面を改めていきたい」とお話されていたように、私も態度を習って学習・生活の意識をしていきたいと強く感じました。

1年 H.S.

- 1・一年をどう過ごすか
 - ・「夢」について
 - ・三学期をどう進むか
- 2・新年のスタートである、3学期。来年の正月の自分が楽しく過ごせるように、たくさん努力したい。そして夢。私は具体的ではないが、直接人を感動（笑わせたり泣かせたり）させられる仕事に就き

たい。そのためにも、それらの内容を調べ、実践したい（一部は実践した）。2年生の0学期である3学期は、自分が最高の先輩でいられるように、よく努力したい。

2年 M.K.

1・進路

・夢

2・私は夢がまだはっきりしていないので、今まで「とりあえず」と思って行動してきました。けれどこれからは、夢がはっきりしていないからこそ、今は「自分に何ができるか」「何をすべきなのか」を考えて、少しずつ、夢のことをあせらずに、ゆっくり考えながら行動していきたいです。

2年 S.N.

1・夢を持っている人も持っていない人も行動

・初夢

2・今の時点で夢を持っていようと持っていなくても別に構わない。でも、自分のために行動を起こす。その行動は具体的に、自分の夢や将来につながることをしなくてはいけない。この行動は、決して悪いことにはならない。必ず自分にとってプラスな経験になると思う。そのために、もっと周りを見て、気づき、考え、実行したい。

2年 K.S.

1・夢の話

・夢を見るだけでなく行動にうつす1年に

・夢を実現することだけを考えない

2・校長先生の話聞いて、夢を持つことは大切だということが改めて分かりました。実際、私にも夢があります。ですが、その夢を実現するために何か行動したかということ、うなずけません。夢は見るためのものではなく、実現させるためにあるのだと考えることができました。でも校長先生の話のとおり、その夢の職に就けるかは自分次第で、就けないかもしれません。人生を歩んでいく中で、自分の特技などを少しずつ見つけていくことも大切だと気づけました。

2年 M.I.

1・まだ夢を持っていないことは悪いことではない

・夢をもつとその目標に向かって頑張れる

2・私はまだなりたい職業や将来の夢が決まっていなくて、「夢をもっている人がよくて、持っていない人が悪いというわけではない」ということに少し安心しました。しかし、「夢という目標をもつことで、それを達成するために頑張れる」というのも納得したので、自分の好きなこと、得意なことに結びつくような仕事を少しずつ調べてみようと思いました。私の個性を生かせる仕事が見つかるといいなと思います。

2年 A.O.

1・夢が決まっている→今後どうするか考えやすい いない→あせる必要はない 目の前のことに向き合う

・行動に移す 将来…夢と違って悪くない、後悔ない

・4～5年後、どんな自分、世界になっているか

2・私は将来、何がしたいかまだ確実に決まっていない。しかし、早く決めようとあせってしまうと、まったく別の方向に未来が決まってしまうと思った。これからの進路や職業を決めていくうえで、大切なのは先を見通して行動に移すことだった。なぜなら、こうしたら誰がどう思うか、など想像力を働かせて動けばいい結果が得られるからだ。これから先、4～5年後の自分や世界がどうなっていくか想像して、後悔しない未来をつくっていきたい。

2年 Y.M.

2・私は、小さな頃からずっと変わっていない将来の夢があるけれど、最近はその夢が本当に叶えられるかと少し不安になっていました。何年間もその夢をずっと口にしてきたため、なぜか自分の中で「わたしはその職業に就かなきゃ」と思ってしまっていました。なぜだろうと考えたときに、その職業に就いた自分の姿に期待しすぎていたからだと思いました。今日の校長先生の「焦らなくても大丈夫」という言葉を頭に入れ、無理して周りからの期待や自分の期待に応えるということがないようにしたいです。

2年 S.W.

1・夢をもっているか

- ・今やるべき事に向き合うことができているか
- ・将来どんな人になりたいか

2・校長先生の話聞いて、夢をもって前に進んでいくのは、とても大切なことなんだなと思いました。今の私には、明確に将来やりたいことは決まっていなくても、今やるべきことをしっかりやることで、将来やりたいことが決まったときに役に立てられると思います。なので私は、近い将来進路などを決めることになりませんが、後悔のないよう今から目の前のことを最後までやり切れるような人になりたいです。

2年 Y.E.

1・夢をもっているか

- ・夢をもっていなくても、考えるだけでなく具体的に行動する
- ・目の前のやるべきことに向き合う

2・校長先生の話聞き、自ら考えて行動を起こすことや、やるべきことから逃げずに向き合って解決することの大切さを理解できました。私はまだ夢が決まっておらず、早く決めなくてはと焦っていました。けれど、夢をもっていなくても、目の前のことと向き合い行動することが大切という校長先生の話聞いて、考えが変わりました。今、焦って夢を決める必要は無く、将来の選択肢を少しでも広げることができるよう、学習面や生活面を中心にやるべきことを最後までやりとげ、3学期という短い期間、そしてこの一年を自分自身の成長を感じられる有意義なものにしたいです。

3年 S.T.

1・目の前のことを頑張る

- ・行動にうつす

2・自分の夢や目標が決まっていなくても、今、目の前にあること頑張ることで、自分の将来へつなげていきたいです。また、行動にうつさなければ何も変わらないと思いました。自分の現状を見ずに、高い理想をかかげるだけで行動をしない人は、何も得られないと思います。私は自分の将来の夢が決まっているので、それを実現できるように目の前にあることを必死に頑張って、行動を起こすことを心がけ、妥協せず頑張りたいです。頑張ったことの100%が自分の目標につながらないと思う。でも頑張ったという経験は、無駄にはならない。一生懸命頑張りたいです。

3年 K.A.

1・初夢、夢について、社会の中で何をしたいか、夢がある人は何をすべきか明確、夢がない人は焦る必要は無い

- ・目の前のことに集中して行動することが大事
- ・将来を思い描いてほしい、自立貢献の力を身につける

2・私は将来の夢を明確にもっていますが、そのための行動はまだ明確化できていません。今は、目の前の自分がすべきことをしよう、と思っているからです。受験が終わり、新しい学校生活が始まったとき、改めて深く考えていこうと思っています。

- ・将来の自分を思い描くことは大切だと、今回の校長先生の話聞いてそう思いました。将来の自分を思い描いておくことで、そんな自分になるための行動を今からすることができると思っています。何事も行動してみて、結果、何を得られたかが重要だと思います。
- ・もうすぐ義務教育も終了し、社会で役立つための準備が始まると思います。私は、残り少ない中学校生活を全力で頑張りたいと思いました。

3年 K.H.

- 1・今年の正月、冬休みはどう過ごしたか→来年の正月はどう過ごしているか 初雪や初詣は行ってどうだった
 - ・校長面接をして夢を聞いたとき 夢ある人→はっきりしやすい、成果を得やすい 夢ない人→目の前にあることをやる、あせらなくていい →(どちらも)しっかり具体的に行動する
 - ・7年後自分はどうしているか、以前と夢が違って構わない、叶わなくてもいい、とにかく目の前のことをしっかりやる
- 2・自分は、冬休み受験に向けて繰り返し行い、冬休みは自分で計画を立てて行動できたと思います。また、今振り返れば、初夢や初詣も行い、受験の流れを感じ、緊張を感じて頑張ろうと思いました。私は校長面接で夢があるとはっきり言ったので、そのために自分は未来の自分がどんな風になっても構わないと改めて思い、自分が幸せになるために努力したいと思います。

3年 H.O.

- 1・将来の夢は必ず決めないといけないわけではない
 - ・行動にしっかりと移せる人になってほしい
 - ・夢がなくとも、何事にも一生懸命取り組んでほしい
- 2・私には助産師という夢がありますが、それは母も助産師だからであって、「絶対にこれになりたい、何があっても目指したい」というほど強い願望ではありません。母や友人、先生に将来の夢について聞かれるたびに「早くしっかり決めなきゃ」という気持ちになっていましたが、必ず決めなくてもよいと聞いて、気持ちが楽になりました。また、進路についてもまだ手の届かない第一志望にするか、安全圏の高校にするか悩んでいますが、どちらに行くにしても一生懸命物事に取り組める一年にしたい。

- ・新年ということで、夢…特に将来の「夢」とのつきあい方についてお話ししました。
- ・同じ話を同じときに聞いていても、受け取り方や印象に残った内容は皆異なります。教育の面白さ、また、難しさを感じることもあります。
- ・この取組には「正解」はありません。話の要点を捉え、聞いた話について自分の考えを含めて短い時間で書くことを求めるものです。
- ・「学校は社会に出たときの力をつけるところ」といつも言っていますし、中学生として自分は将来どうなっていくのか、浅い深い個人差はあるにせよ誰もが考えるところです。変化の激しい時代の中で、一見きらびやかなネット上の情報ばかりが多く、実際の「社会の大人たち」と関わる経験が決して多くはない中学生にとって、「大人モデル」を形作るのは難しいことだろうと察します。それでもへこたれず、前を向いて一步を踏み出す生徒達であってほしいと願っています。

：越谷市立中央中学校 校長 石山 秀樹